

# 隠された宝

シリーズ～神の国～

2013/3/3

## マタイによる福音書13章44～46節

天の国は次のようにたとえられる。畑に宝が隠されている。見つけた人は、そのまま隠しておき、喜びながら帰り、持ち物をすっかり売り払って、その畑を買う。

また、天の国は次のようにたとえられる。商人が良い真珠を探している。高価な真珠を一つ見つけると、出かけて行って持ち物をすっかり売り払い、それを買う。



# 畑に隠された宝

- 新約聖書の時代,イスラエルの人々は財産や宝物を地面に埋めて保管した
  - 安全に預ける場所がなかった
  - しばしば戦争や略奪があった
  - 「しかし、1タラント預かった者は、出て行って穴を掘り、主人の金を隠しておいた。」マタイ25:18
- 宝はその土地の所有者の物である
  - 「見つけた人」の物ではない
  - その宝を手に入れたければ,盗むか,土地ごと買わなければならない



# 高価な真珠

- 新約聖書の時代,真珠は金よりもはるかに高価な宝石だった
  - まだ養殖はされておらず,深いところまで命がけで潜って採るしか手に入れる方法はなかった
  - 良質な真珠はペルシャ湾やインドで採れた
- 良い真珠は「一つの国」を買えるほど高価だった
  - クレオパトラがアントニウス(ローマ将軍)に本当の贅沢を示すために,自分の耳につけていた真珠を酢に溶かして飲んだ,と言われている
  - 「真珠を豚に投げてはならない」マタイ7:6



# 「神の国」は隠された宝である

- 「神の国」とは,天地を創造された真の神の支配を受け入れて生きることである
  - 地域や場所のことではない
- 神の国は簡単にみつからない
  - 誰からも見えるように展示されてはいない
  - 思わぬ時に偶然見つかる
- 神の国は何物にも代え難い価値を持っている
  - 「持ち物をすっかり売り払って」でも買う価値がある
  - 土地ごと買って損はないぐらいの価値がある



# 「神の国」は高価な真珠である

- 神の国は簡単にはみつからない
  - 商人は良い真珠を探していた
- 神の国は何物にも代え難い価値を持っている
  - 「持ち物をすっかり売り払い、それを買う」
  - 自分の全財産よりもはるかに価値があるから
  - 「わたしの主キリスト・イエスを知ることのあまりのすばらしさに、今では他の一切を損失とみています。キリストのゆえに、わたしはすべてを失いましたが、それらを塵あくと見なしています。」  
＜パウロ／フィリピ3:7-8＞



# 「神の国」が宝である理由

- 天地を創造し、支配しておられる神に信頼して生きてゆくことができる
  - 「主は人の一歩一歩を定め／御旨にかなう道を備えてくださる。」〈詩篇37:23〉
- 神の子どもとして神の愛に守られる
  - 「言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。」〈ヨハネ1:12〉
- 生涯を共に生きる本当の家族を得る
  - 「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これがわたしの掟である。」〈ヨハネ15:12〉



# 真珠商人である神

- 神にとって私たちは「高価な真珠」である
  - 「わたしの目にあなたは価高く、貴く／わたしはあなたを愛し…」＜イザヤ43:4＞
- 神は私たちを手に入れるために、「持ち物をすっかり売り払い、それを買」って下さった

「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。」＜ヨハネ3:16＞

